

## (臨床研究に関するお知らせ)

### 血液造血器疾患で通院歴のある患者さんへ

和歌山県立医科大学臨床感染制御学講座では、以下の臨床研究を実施しています。ここにご説明するのは、診療情報や検査データ等を解析する「観察研究」という臨床研究で、本学倫理審査委員会の承認を得て行うものです。通常の診療で得られた情報等を利用して頂く研究ですので、対象となる患者さんに新たな検査や費用のご負担をお願いするものではありません。また、対象となる方が特定できないよう、個人情報の保護には十分な注意を払います。

この研究の対象に該当すると思われる方やご家族で、ご自身の診療情報等が利用されることを望まない場合やご質問がある場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

#### 1. 研究課題名

血液造血器疾患の血流感染症で分離される病原体と患者予後予測の確立

#### 2. 研究責任者

和歌山県立医科大学 臨床感染制御学講座 助教 森本将矢

#### 3. 研究の目的

血液造血器疾患の血流感染症を起こす細菌の特徴を比較し、予後に関連する項目を明らかにする

#### 4. 研究の概要

##### (1) 対象となる患者さん

血液内科の患者さんで、2010年1月1日から2023年12月31日までの期間中に、血流感染症(菌血症)の治療(検査)を受けた方

##### (2) 研究期間

研究実施許可日～2026年12月31日まで

##### (3) 試料・情報の利用又は提供を開始する予定日

研究実施許可日

##### (4) 利用させて頂く試料・情報

この研究で利用させて頂くデータは、本学の既存診療情報のみです。

##### (5) 方法

①血液造血器疾患患者における血流感染症の分離菌、薬剤感受性について経年的変化、各疾患別・感染部位別の相違を評価する。

②抽出した対象患者の各評価項目について転機(30日以内死亡)との関連を解析する。

③起炎菌がグラム陰性桿菌の場合に注目し、腸内細菌目細菌とブドウ糖非発酵菌それぞれのリスク因子解析を行う。

#### 5. 外部への試料・情報の提供

ありません。

#### 6. 個人情報の取扱い

利用する情報からは、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されることがありますが、その際も患者さんの個人情報が公表されることはありません。

## 7. ご自身の情報が利用されることを望まない場合

臨床研究は医学の進歩に欠かせない学術活動ですが、本研究の対象となる方、もしくは代理人(ご家族など)には、ご自身・ご家族の診療情報等が利用されることを望まない場合、これを拒否する権利があります。その場合は、下記までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、既にデータが解析され個人を特定できない場合など、研究の進捗状況によっては削除できないことがありますので、ご了承ください。なお、研究協力を拒否された場合でも、診療上の不利益を被ることは一切ありません。

## 8. 資金源及び利益相反等について

本研究に関連して開示すべき利益相反関係になる企業等はありません。

## 9. 問い合わせ先

和歌山県立医科大学臨床感染制御学講座

担当者：森本 将矢

住所：和歌山市紀三井寺 811-1

TEL：073-447-2300 FAX：073-441-0832

E-mail：masamor@wakayama-med.ac.jp